

名古屋シュピールシンフォニカー 第13回演奏会  
NAGOYA SPIEL SINFONIKER

ブラームス..ピアノノ四重奏曲第一番 (シェーンベルクによる管弦楽編曲版)  
チャイコフスキー..幻想序曲「ロメオとジュリエット」

客演指揮..高谷光信



愛知県芸術劇場コンサートホール

2022.  
10.15 土

[開場] 14:30 [開演] 15:15

**入場無料**【全席自由・要チケット】

※未就学児の入場はご遠慮ください。

《ウクライナ支援募金あり》

当日はホワイエに募金箱を設置します。皆様からいただいた募金は日本ユニセフ協会を通じ、ウクライナで人道支援を必要とする子どもやその家族のために役立てられます。

チケット(無料)のお申込みについて

ご来場にはチケットが必要です。  
電子チケットサービス「teket (テケト)」または  
公式ウェブサイトから事前にお申し込みください。

[teket]



[WEB]



名古屋シュピールシンフォニカーは、主に東海地区の大学オーケストラの出身者によって 2008 年に発足したアマチュアオーケストラです。約 100 名の団員が在籍し、年 1 回の定期演奏会と年 1 回の室内楽演奏会を中心に演奏活動を行っています。

楽団名である「Nagoya Spiel Sinfoniker」の「Spiel」とは、ドイツ語で「音楽を奏でる」「音楽を楽しむ」「遊ぶ」という意味があります。お客様に満足していただけるように、まずは団員一人ひとりがクラシック音楽を楽しみ、そして一丸となって遊び心のある多彩な演奏をしよう、という想いが込められています。



客演指揮

## 高谷 光信

Conductor: TAKAYA Mitsunobu

東京混声合唱団 指揮者、ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者。

ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V. プラソロフ、故 E. ドゥーシェンコ、N. スーカッチに師事。

東京混声合唱団、ウクライナ国立ドゥムカ合唱団、大阪交響楽団、セントラル愛知交響楽団、フジコ・ヘミング等と共演。現在、一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会 理事長。

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い



体調不良の方は  
ご来場をお控えください。



37.5°C以上の発熱がある場合は  
ご入場できません。



十分な間隔を確保し、  
密集を避けてください。



出演者への贈り物や面会は  
お断りいたします。



会場内ではマスクを  
必ずご着用ください。



手指の消毒やこまめな手洗い、  
咳エチケットにご協力ください。



終演後の「プラボー」などの  
声掛けはご遠慮ください。



ご来場後に感染が発覚したら  
当団までご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、開催方法が直前に変更となる場合がございます。最新の情報は当団公式ウェブサイトや SNS にてご確認ください。



WEB



Facebook



Instagram



Twitter

今後の演奏会のご案内

## 名古屋シュピールシンフォニカー 室内楽演奏会 2023

2023 年 2 月 19 日 (日) 開演時刻未定  
西文化小劇場【入場無料】